

今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討について

平成24年12月28日
文教施設企画部長決定

1 趣旨

近年我が国における医学・医療を取り巻く環境は大きく変化しており、優れた医療人材の養成や安心・安全で高度な医療の提供が急務の課題となる中、国立大学附属病院については、その使命を、教育、診療、研究、地域貢献・社会貢献及び国際化の5本柱を新たに掲げ取り組んでいる。

そのような中、現在、国立大学附属病院は、ほぼ全てにおいて再開発整備に着手しており、既に再開発整備が完了した大学においては、高度先進医療の推進や病院機能の高度化などの対応が求められ、次の大規模整備が必要となってきた。さらに、東日本大震災における被害を踏まえ、災害時の医療拠点としての防災機能の充実強化等が必要である。

このような国立大学附属病院の状況と医療制度改革の動向等を踏まえ、今後の国立大学附属病院の施設整備における留意すべき事項などについて検討する。

2 検討事項

- (1) これまでの国立大学附属病院再開発整備の成果と課題について
- (2) 国立大学附属病院を取り巻く情勢を踏まえた施設整備上の留意事項について
- (3) その他

3 実施方法

別紙の学識経験者等の協力を得て、2に掲げる事項について検討を行う。

4 実施期間

平成24年12月28日から平成26年3月31日までとする。

5 その他

この検討会に関する庶務は、大臣官房文教施設企画部計画課整備計画室において行う。

今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討会 委員名簿

氏 名	職 名
浅原 利正	広島大学学長
石田 信之	日本医業経営コンサルタント協会理事 アイテック(株)常務取締役
伊藤 一章	日本医療福祉建築協会副会長 (株)伊藤喜三郎建築研究所取締役会長
大道 久	社会保険横浜中央病院長
小見山 智恵子	東京大学医学附属病院看護部長
塩崎 英司	名古屋大学医学部・医学研究科(病院長補佐)事務部長
鈴木 裕子	新日本有限責任監査法人パブリックグループ パートナー 公認会計士
豊田 長康	独立行政法人国立大学財務・経営センター理事長
中山 茂樹	千葉大学大学院工学研究科教授
長澤 泰	工学院大学副学長
宮崎 勝	千葉大学医学部附属病院長
山下 哲郎	工学院大学建築学部建築学科教授

(以上12名、敬称略、五十音順)

(特別協力者)

齋藤 福栄 国立教育政策研究所文教施設研究センター長

(以上1名、敬称略)

「今後の国立大学附属病院施設整備に関する検討」の位置付け

国立大学法人等全体の施設整備方針

知の拠点—我が国の未来を拓く国立大学法人等施設の整備充実について(平成23年8月 協力者会議報告)
—今後の国立大学法人等の施設整備における、中長期的な対応方を提示—

第3次国立大学法人等施設整備5か年計画(平成23年8月 文部科学大臣決定)
—計画的・重点的な施設整備を推進—

【患者の視点】

- ・質の高い医療の提供
- ・療養環境の改善
- ・防災機能の充実強化 等

【医療従事者の視点】

- ・教育研修機能の充実
- ・研究機能の充実
- ・高度先進医療の実践 等

【経営的な視点】

- ・大学間、地域医療との連携
- ・病院財政の健全化
- ・中長期的な計画 等

【国立大学附属病院の視点】

国立大学附属病院の今後のあり姿を求めて[提言] ~その課題と展望~
「教育、診療、研究、地域・社会貢献、国際化」
国立大学附属病院ネットワーク

- ・高度先進医療への対応
- ・医療人材の育成 等



医療制度改革

効率的・効果的な提供体制の構築

「高度急性期」、「一般急性期」、「亜急性期」など、ニーズに合わせた機能分化・集約化と連携強化。併せて地域実情に応じ、新たな体制を段階的に構築。

医療機能分化の推進
医療・介護の連携強化

より高機能の体制構築を目指す。

医療機能分化の徹底
連携の更なる強化

高度急性期への対応

※特定機能病院としての役割を踏まえた検討が必要

国立大学附属病院施設整備の新たな展開